

特集：ジャガイモと化学

今年は国連が決めた“国際イモ年（International Year of the Potato 2008; <http://www.potato2008.org/>）”であり、本特集はそれに協賛した形である。ジャガイモにはもちろん根があり、それで生育や薯（塊茎）生産に必要な養分を吸収する。鈴木・岩間の両先生にはその点について紹介頂いた。また、収穫されたジャガイモ（塊茎）は長く人々の生命や生活を支えてきたが、最近では機能性食品としての一面が明らかになりつつある。古賀・奈良の両先生にはジャガイモの栄養化学について解説頂いた。

1. 鈴木正昭：

土と肥料とジャガイモ

家庭菜園でジャガイモを栽培する方も多いと思う。「土と肥料」を学習することにより、技術や収穫のアップが図れるかも。

2. 岩間和人：

ジャガイモ根系の科学 ～乾燥抵抗性システムの育成～

芋掘りの時、ジャガイモの根系は見向きもされない。しかし、根があるから土に生え、養分を吸収し、ジャガイモが収穫される。「根系の科学」の最新情報が紹介された。たまには根に目を向けるのも。

3. 古賀秀徳：

ジャガイモの栄養化学（Ⅰ） ～人々の生活を支えた栄養成分～

世界的に普及したジャガイモ。その有機栄養素と微量栄養素の含量等から、人々の生命と生活を支え、主食ともなるジャガイモの栄養成分について紹介。

4. 奈良一寛：

ジャガイモの栄養化学（Ⅱ） ～自然のチカラ、ファイトケミカル～

植物には人の健康を増進させる化学物質（phytochemicals）が含まれ、それがジャガイモに豊富に含まれることがわかった。その成分と機能を紹介。ジャガイモでファイト！